

浅口市立鴨方中学校 令和6年度 学力・学習状況調査結果の概要 令和6年10月18日公表

全国学力・学習状況調査の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○国語科では全体的に正答率が高かった。中でも、情報の扱いに関するも問題での正答率が高かった。 ○数学科では記述問題の正答率が高い。教科書やワークにあるような既習問題は比較的出来ていた。 <課題> ▲国語科では「話すこと・聞くこと」の分野において、正答率が低く、「必要に応じて質問しながら話の内容をとらえること」、「資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すこと」の正答率が低かった。 ▲数学科では、長い文章から必要な情報を探すことが難しい傾向が見られ、初見の問題や、図形の問題を苦手としている傾向がある。	<成果> ○「自分には、良いところがあると思う。」に対して、正答率が高く、自尊感情が育っている。 ○「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」に対しても割合が高く、主体的に授業に取り組んでいる。 <課題> ▲「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」に対しては、否定的に答えた生徒が30%近くみられる。また、家庭での学習時間が3時間を超える生徒が0.8%と低く、家庭で学習に取り組む時間が短い。 ▲授業には主体的に取り組む生徒が多い一方で、授業を振り返って自分を客観的に捉える生徒が少ない。

岡山県学力・学習状況調査の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○国語科では、漢字の読み書きは比較的出来ていた。また、読み取りの問題でも、1年生の説明的な文章にはやや苦手を示す生徒が見られるが、1年生2年生ともに、説明的な文章、文学的な文章ともにおおむね理解できている。 ○数学科では、計算問題や図形の問題には正答率が高かった。 ○英語科では、簡単な英語を聞いたり、書き写したりすることはできている。 <課題> ▲国語科では、「読み取った内容や自分の考えを明確にして書くこと」に対して、正答率が低い。また、「敬語」を理解して、適切に使うことに関しても苦手が見られた。 ▲数学科では文章問題から立式することや、割合や比についての問題を苦手とする生徒が一定数みられる。	<成果> ○「自分にはよいところがある」に対して、中1、中2ともに肯定的に答えた生徒が80%を越えていることから、自尊感情が高い。 ○「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対しては、中1、中2ともに肯定的に答えた生徒が80%を越えており、学習に主体的対話的に取り組んでいる。 <課題> ▲「将来の夢や目標を持っている」に対しては、学年が上がるにつれ、肯定的な数値が低くなる傾向がある。 ▲「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」に対して、特に中2で肯定的な回答が下がる傾向にある。 ▲家庭で自分で計画を立てて学習するや、家庭での学習時間に関する質問では、肯定的な答えが低い。

改 善 策

学 校 で の 取 組

- ①授業規律
 - ・授業前後のあいさつ・教室環境の整備、切り替えスピードを意識させて、メリハリのある授業の展開をする。
- ②分かりやすい授業の工夫
 - ・ペア活動、話し合い活動など、言語活動やコミュニケーション活動を充実させ、アウトプットを重視する。
 - ・条件に合った文章や要約等の「書くこと」の活動を増やす。
 - ・ICT機器を習得時、課題解決時のみでなく、発表時や意見交換時にも活用する。
 - ・授業での振り返りを行い、客観的に考える力をつけさせる。
- ③基礎・基本の定着のための取組
 - ・タブドリLive!などのICT機器を活用し、基礎的、基本的な知識の定着を図る。
 - ・課題の出し方を工夫するなど、個に応じた学習をすすめる。
 - ・各教科の小テストや帯活動を充実させる。
- ④落ち着いて学習に取り組める集団をつくる。
 - ・i-check(生徒の現状を知るアンケート)を実施して生徒一人一人への理解を図るとともに、全体の傾向を分析し、有効な手立てを講じること。
 - ・集団づくりのために学級活動、道徳、行事などで計画的な取組を行うこと。('ほめ言葉のシャワー'の取組を中心として、人間関係づくり・コミュニケーション力の向上に取り組むこと。)

あい・かもがた学園での取組

- 自立した学習者を育成するために、カリキュラム「あい・かもがた学」に沿って、中学校区で一貫した指導を行い、基礎学力の定着、学び合い活動の充実を図り、自立した学習者の育成を図る。
- 「ほめ言葉のシャワー」の取組を通して、互いに認め合う温かい人間関係作りに努めるとともに自己肯定感を高めることができるようにする。
- 各校の授業参観や情報交換の機会を設け、園・小・中学校のスムーズな接続を図る。

家庭・地域へのお願い

- 課題は必ず1日に一つは出ているので、保護者に確認していただき、生徒自身が課題にどのように取り組んでいるか確認していただきたい。
- ネットの使い方について、ルールを話し合うなど、家庭でよく相談していただきたい。
- コミュニティ・スクールの活動を通して、学校、家庭、地域が、より強固に連携・協力しながら地域の宝である子どもたちを育てていきたいと考えています。ご協力、お力添えをお願いします。